

事業計画

1. 対象施設の概要

- (1)

対象施設の名称

(仮称) ○○事業所
- 所在地

大津市○○一丁目 2 番 3 4 号
- (2)

設置主体

社会福祉法人○○福祉会
- (3)

事業（施設）種別

生活介護 40人

(4)

利用定員

現在定員	増加定員	合 計
人	40 人	40 人

2. 施設整備費に係る事業計画

(1) 施設の規模および構造等

① 整備事業本体（解体撤去工事費・仮設施設工事費を除く。）

(ア) 施設整備の区分

(a)障害福祉サービス事業所、障害者支援施設等

☒創設

☐増築

☐改築

☐大規模修繕等

老朽民間社会福祉整備

避難スペース整備

スプリンクラー整備

(b)共同生活援助、短期入所事業所等

☐創設

☐増築

☐大規模修繕等

老朽民間社会福祉施設整備

避難スペース整備

(イ)

建物の構造・面積

建築面積

696.38 m²

延床面積

696.38 m²

木造

1 階建て

(ウ) 建設用地の状況

- ☒ 用地の地目

雑種地

☒ 所有者

○○市
- ☐ 用地面積

1,997.67 m² (2 筆)

☒ 現 状

山林
- ☐ 用地取得の場合 (契約済 ・ 確約書を入手)
- ☒ 賃貸借の場合 (契約済 ・ 確約書を入手)
- ☒ 地域住民への説明状況 (関係団体・関係自治会・地区住民・隣地住民)

→進捗状況 (いつ *月*日 どのような場で 市、区長に説明、区住民総会で説明)
- ☒ 予定地内の里道水路 (有 ・ 無)

→有の場合払い下げ見込み ()
- ☒ 排水路関係 (☒整備済 ・ ☐未整備)
- ☒ 進入路関係 (☒公道有 ・ ☐公道無)
- ☒ 農振法農業用地 (内 ・ 外) →内であれば解除の見込み (年 月頃)
- ☒ 農地の場合、転用許可の状況

→進捗状況 (市担当者と協議中。特に問題なく、許可の見込。)
- ☒ 都市計画法、河川法、文化財保護法など予定地に係る公的規制 (有 ・ 無)

→有の場合その内容 ()
- ☒ 地域住民との意見交換など話し合いの状況

○月○日に地元自治会役員に説明し、○月△日に地元自治会において建設計画説明会を開催し、概ね了承を得ている。
今後、施工時の騒音対策や安全対策などについても、説明会を開く予定。

(エ) 当該施設の必要性

☒ 地域の状況（施設整備のニーズ、別紙で周辺地図に施設分布を記載すること）

通所施設の場合（入所施設は創設不可）

現在の通所施設定員数

20 人

整備後の通所施設定員数

60 人

現在の通所施設利用者数

22 人

現在の通所待機者数

29 人

☒ 当該施設の必要性について（簡潔に要点を記載すること。別紙添付可。）

大津市○○地域においては、通所施設等の定員に対して利用者数の超過が常態となっており、さらに障害の重度重複化により生活介護事業のニーズが高まっているが、サービスの供給量とマッチングしていないことから、当該事業所の創設が望まれている。

② 解体撤去工事費（改築の場合であって、既存施設にかかるもの）
（ア）建物の構造・面積 建築面積 m² 延床面積 m²
造 階建て
（イ）建築年月日 年 月 日
（ウ）老朽度点数または現存率
（エ）補助金の区分 令和 年度（国庫補助・県補助・市補助・民間助成・自己資金）
（オ）処分（取りこわし）年月日 令和 年 月 日

③ 仮設施設工事費
建物の構造・面積 建築面積 m² 延床面積 m²
造 階建て

(2) 施工計画

(ア) 予定工期 令和8年〇月〇日 ～ 令和9年3月15日
(イ) 事業開始予定年月日 令和9年4月1日

(3) 事業費内訳

区 分		対象内経費	対象外経費	合 計
主 体 工 事	①本体工事費	200,000,000 円	1,000,000 円	201,000,000 円
	②本体工事事務費	5,200,000 円	500,000 円	5,700,000 円
	小 計	205,200,000 円	1,500,000 円	206,700,000 円
そ の 他 工 事	③就労・訓練設備	15,000,000 円	円	15,000,000 円
	④解体撤去費	円	円	円
	⑤仮設施設整備費	円	円	円
	⑥その他（ ）	円	円	円
	小 計	15,000,000 円	円	15,000,000 円
土地代		円	60,000,000 円	60,000,000 円
合 計		220,200,000 円	61,500,000 円	281,700,000 円

A B

(4) 市補助基本額の算出（補助基準単価より）

区 分		利用定員	合 計
主 体 工 事	①本体工事費	40 人	130,200,000 円
	②発達障害者支援センター整備加算		円
	③相談支援整備加算		円
	④居宅介護整備加算		円
	⑤短期入所整備加算	人	円
	⑥エレベーター等設置整備加算 (GHのみ)		円
	⑦避難スペース整備加算		円
	⑧その他（ ）		円
小 計			130,200,000 円
そ の 他 工 事	⑨就労・訓練事業等整備加算		15,000,000 円
	⑩解体撤去費（入所・通所）		円
	⑪仮設施設整備費（入所・通所）		円
	⑫その他（ ）		円
小 計			15,000,000 円
合 計（算定基準による補助基本額）			145,200,000 円

C

(5) 市補助基準額の算出

総事業費の実支出（予定）額	B	281,700,000 円
寄付金その他の収入額	D	円
差 引 額	E（=B－D）	281,700,000 円 E

Cの額or（AorEの低い方）×補助率3/4の額のいずれか少ない額 145,200,000 円

市補助所要額（市補助金協議額） 145,200,000 円

(6) 財源内訳

財 源 区 分	金 額
ア 市補助金	145,200,000 円
うち国庫補助（2／3）	96,800,000 円
うち市費補助（1／3）	48,400,000 円
イ 市（町）補助金	円
ウ 設置者負担金	136,500,000 円
法人自己資金（積立金）	119,500,000 円
寄付（予定）金	3,000,000 円
福祉医療機構借入金	14,000,000 円
その他借入金（ ）	円
	円
合 計	281,700,000 円

←(3) 事業費内訳の合計と一致

(7) 補助単価区分ごとの説明

単価区分	事業区分	具体的事業内容（簡潔に記載のこと）
本 体 工 事 費	①生活介護 40 人	○生活介護 地域における重度の知的障害および重度の肢体不自由のある「重度心身障害者」を対象に、日常生活動作訓練、運動機能等の低下防止訓練及び集団生活訓練等を行うことにより、地域社会の中で生活できるように、必要な療育を実施する。 (1) 日常生活上の支援の提供 食事や排泄、入浴等の支援を要する利用者に対し、介護を通じて日常生活能力を高めるとともに、個々に応じた支援により快適な日常生活の提供を図る。 (2) 社会生活上の支援の提供 社会生活に馴染みにくい利用者に対し、身体能力を活かした機能訓練や情緒の安定を図る。 (3) 創作的活動の提供 音楽療法、絵画、歩行訓練を通して身体能力の維持向上や情緒の安定を図る。 (4) 生活活動の提供 下請け軽作業等を通して、身体能力、日常活動能力の維持向上を図る。 ○就労継続支援(B型) (1) 生産活動の機会の提供 下請け軽作業を中心に、身体能力、日常活動能力の維持向上を図る。 (2) 就労の機会の提供 厨房を利用し、食品加工(ポップコーン、ボン菓子等)を行い、製造、梱包、販売を経験してもらう。
	②自立訓練 人	
	③就労移行支援 人	
	④就労継続（A型） 人	
	⑤就労継続（B型） 人	
	⑥共同生活援助 人	
	⑦施設入所支援 人	
	合 計 40 人	

単価区分	整備内容の内訳	見積額 (千円)	合見積額 (千円)	左の設備を必要とする理由	
就 労 ・ 訓 練 事 業 等 整 備 加 算	①天井走行型介護用リフト	10,000	15,000	自力での移動が困難な重度の身体障害者の移動支援、入浴支援を行うために整備する	
	②昇降浴槽	5,000	6,000		
	③				
	合 計	15,000	21,000		
	生産事業の内訳	作業従事者数	作業従事職員数	受 注 先 (名 称)	年間受注額 (見込み額)
		人	人		
		人	人		
		人	人		
	合 計	人	人		